

2017年10月 外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (4、5週)				
消化器内科	午前		藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊大病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前	済生会熊本病院医師 (1、3、5週)		済生会熊本病院医師		
腎臓病外来	午前				町田 健治	
	午後			町田 健治		
糖尿病外来	午前					済生会熊本病院医師 星乃(2週)、松尾(3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗		
ペインクリニック	午前		荒川 和也			
	午後					荒川 和也
禁煙外来	午後				藤岡 正導	
動脈硬化外来	午後		藤岡 正導			
脳ドック	午後			藤岡 正導		

● 受付時間／午前8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
● 診療案内／TEL.0964-53-1656
FAX.0964-53-1657
※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。

● 休診のお知らせ ●
10月13日(金)／脳神経外科(藤岡医師)
消化器内科(藤本医師)
10月26日(木)／外科(甲斐医師)

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

- 1.良質な医療を公平に受ける権利
- 2.診療の内容等について十分な説明を受ける権利
- 3.治療方法など自分の意志で決定する権利
- 4.個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
- 5.診療記録の開示を求める権利
- 6.あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

- 1.自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
- 2.わからない事柄について質問する義務
- 3.病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
- 4.他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1
TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら
<http://sk-misumi.jp>



発行／平成29年10月 社会福祉法人済生会みすみ病院 広報委員会

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



45 Take Free.
2017.10



第23回
みすみ港祭り

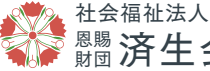
病気のはなし「ダニのはなし」

リハビリテーションだより「ことばのコミュニケーション」

みすみ病院のできごと／部署紹介[医療連携部]

外来医師一覧

[特集] 出前・健康講座／湯島出前講座／健康フェスタ予告



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌／発行者 庄野 弘幸



ダニのはなし

外科／甲斐 幹男

最近ダニに噛まれた方が何人かお見えになりました。当院には皮膚科はないのですがダニに噛まれた方が見えられることもあります。ダニに噛まれて病院に行くことはないようにも思いますが、単に痒いからではなく、病気になる危険をご存じで、診察を受けられる方がおられます。

○ ダニの種類

ダニに噛まれるといっても、大きく2種類のダニの種類があります。ダニで病院にかかる病気には喘息がありますが、噛まないでアレルギーで問題になるのはとても小さな、0.5mm無いようなヒョウヒダニやコナダニです。これらは人をかむわけではないのですが、喘息やアレルギーの原因となるため、こまったダニです。

ひとを噛むのはもう少し大きなダニたちで、一つは家の中で噛まれる、小さな噛み跡のダニ、もう一つは屋外で噛まれる大きな噛み跡のダニ、場合によってはダニがついたままになっている事もあります。

○ひとを噛むダニ

まず、小さな方ですが、家の中でダニに噛まれるとき大体は1mm以下の大きさのイエダニかツメダニに噛まれるのだと思います。小さな赤い腫れたあととなり、とても痒いようです。

もう一つの大きな噛み跡の方です。最近病院に来られるのは、屋外で3-10mmくらいあるような大きなダニであるマダニに噛まれた人たちです。ダニも大きいですがかみ傷も大きいです。なによりかみついたダニがついているのを自分で見つけることもあります。このマダニに噛まれたら病院にかかった方が良いでしょう。マダニは人に病気をうつすことがあります。

○ ダニに噛まれたら

まず、かみついたままのダニに気付いたら、ダニは無理に取らずにそのまま病院、皮膚科を受診してください。

ダニを無理に捕ろうとすると頭部が食いついたまま残り、傷が治るのが遅くなるし、ダニのなかの病原体が入ってきてしまうかもしれません。



▲当院で撮影したダニの写真

むかし、“つつがなく”ということばがありました。つつが虫病という病気にかからないようにといった意味だったようです。昔からダニによる病気はあったわけです。ツツガ虫というダニの一種がうつす病気で2000年以降も日本で年間数百人が発症しています。古くからあり、いまでも続いている病気です。具体的には、ダニに噛まれたあと、1-2週間して、熱がでて発疹が出る病気です。熊本では平成28年は20件発生しています。

この病気以外にもダニがうつす病気が最近多く発見されています。

リケッチアという病原体でうつる日本紅斑熱はツツガ虫病と同様に薬がある病気です。日本紅斑熱は平成28年熊本では19件の報告があるようです。このほかにリケッチアでうつるQ熱という病気もありますがだんだん減っているようです。野兎病やライム病は細菌によってうつる病気です。ライム病は小鳥やネズミからマダニによって人にうつるスピロヘータという細菌による病気です。日本での発生は少ないですが1986年以降、北海道などで発生があるようです。

○ マダニが引き起こす病気

最近見つかっているのはマダニによりうつるウイルスという種類の病原体で起こる病気です。ダニ媒介性脳炎が1993年に北海道で発見されました。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は特に西日本での報告があっています。これらのウイルスによる病気は有効な抗ウイルス薬がないため、対症療法が主となっています。

熊本県でのSTFSの発症は平成25年から昨年まで毎年1-4人あっています。(熊本での件数は熊本県健康危機管理課の資料から)SFTSについてはダニから病気がうつった猫に噛まれた方が病気がうつって来院された例も報告されています。

どの病気も噛まれてすぐに病気になるのではなく、潜伏期間というものがあり、早い日本紅斑熱で2日、遅いSTFSで6日程度たってから病気の症状が出始めます。

○ マダニの治療

マダニに噛まれて病気がうつるのですが、噛まれれば必ず病気になるわけではないので噛まれたからといって慌てる必要はありませんが、噛まれたらまず病院や皮膚科に受診し、ダニをとってもらいましょう。鹿児島県の調査ではマダニの内SFTSの病原体を持つものは2-3%程度だったようです。

根本的な治療がない病気もあるので、予防が大

切です。ダニに噛まれてからでは予防はできません。マダニに噛まれないことが予防になります。マダニが活発になるのが春から秋にかけてであり、この時期が要注意になります。

1. 野山など、マダニが多く生息する場所に立ち入らない

マダニは野生動物に寄生しているため、イノシシやシカなどの生息があるところは特に注意です。どうしてもそういった場所に入る場合は長袖、長ズボン、足を覆う靴を履くなどして肌を露出しないように注意してください。シャツの裾はズボンに入れる。ズボンの裾は長靴に入れる。あるいはズボンの裾に靴下をかぶせる等をして素肌が露出しない様にしましょう。

2. ダニよけのスプレーでマダニの付着を予防

最近ではマダニに対する虫除けが商品化されています。薬局で手に入りますが、スプレー等だけでマダニの付着を完全に予防はできないので1の注意も必ず必要です。

3. 野外での作業等のあとは必ず、シャワーや入浴

野外での作業等のあとはダニに噛まれていないか、ダニがついていないかのチェックをしてください。服についたダニを取るのにはガムテープも効果的です

4. ダニに噛まれていることに気付いたらすぐに皮膚科か病院を受診しましょう

いまのところみすみ病院ではマダニにかまれ病気を発症した方はいません。噛まれない注意と噛まれた後の心構えを忘れずに。



参考資料

国立感染症研究所 高崎氏
鹿児島大学名誉教授 岡本嘉六氏 “ダニ媒介性疾患の国内動向”
日本内科学会雑誌 第93巻 第11号 “ダニ媒介性脳炎”
熊本県健康危機管理課 感染症・新型インフルエンザ対策班 資料
厚生労働省 “重症熱性血小板減少症候群について” 等



リハビリテーションだより
ことばのコミュニケーション

私たち、言語聴覚士です



近年、リハビリという言葉は耳にする機会が増えてきています。しかし、言語聴覚士という職種や、言語聴覚療法というリハビリについてご存じの方はまだまだ少ないのではないのでしょうか。

今回は、言語聴覚士の仕事や当院における言語聴覚士の役割についてご紹介したいと思います。

\ 言語聴覚士とは /

私たちが普段生活する上で当たり前に行っている「話すこと」「相手の話を聴く」といったコミュニケーションに問題がある方に対して、検査や訓練を行います（言語聴覚療法）。また、食べ物がうまく飲み込めない方に対してもリハビリを行っています（摂食機能療法）。そのため、小児から高齢者まで幅広い年齢の方が対象となります。

コミュニケーションを行うためには、言語、聴覚、発声・発音、認知などの機能が必要ですが、脳卒中などの病気や交通事故、発達の遅れなど様々な原因によって問題が生じる事があります。



▲言語訓練の様子

様々な原因によって生じる問題

- 言語の問題** うまく話せない、言われていることが理解できない
文字の読み書きができない
- 聴覚の問題** 加齢や騒音などにより聞こえが悪くなった、生まれつき耳が聞こえない
- 音声の問題** 声帯を失い声が出せない、声がかすれる
- 発音の問題** ろれつがまわらない、特定の音がうまく作れない
(サ行がタ行になってしまうなど)
- 食べる問題** うまく噛めない、食べているときにムせてしまう、肺炎を繰り返す

対象者

- ① 本人または家族より在宅における日常生活・社会生活上の具体的な不安がある方
- ② 家族または地域スタッフ（介護支援専門員・ヘルパー等）より介護方法の指導や福祉用具の使用方法などの指導依頼があった方
- ③ 退院時、院内の日常生活活動に障害がある方
- ④ 在宅での閉じこもり、寝たきりが予測される（心身機能の低下・日常生活の低下が予測される）方
- ⑤ 家屋改修を施行した（またその必要がある）方
- ⑥ その他医師やスタッフが訪問リハビリの必要性があると判断された方

言語聴覚士の勤務場所

- 1.医療施設 …… 病院やリハビリテーションセンターなど
- 2.保健施設 …… 介護老人保健施設、デイケアセンター、訪問看護事業所など
- 3.福祉施設 …… 特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、重症心身障害者施設など
- 4.教育機関 …… 小中学校、特別支援学校、言語聴覚士教育施設など

\ 当院における言語聴覚士の役割 /

現在、当院には6名の言語聴覚士が在籍しています。当院では成人の方を対象に、一般病棟・地域包括ケア病床・回復期リハ病棟・外来リハビリ・訪問リハビリ・通所リハビリにてリハビリを行っています。医師・看護師・理学療法士・作業療法士・介護福祉士・ソーシャルワーカーなどの多職種と連携し、その人らしく生活するための支援を行います。

具体的には、脳卒中後の失語症（聴く・読む・話す・書くことの障害）の方や構音障害（ろれつがうまくまわらない）の方、記憶障害や注意障害などの高次脳機能障害の方へ検査や訓練をしています。

また、ご高齢で、うまく食べ物が飲み込めない、肺炎を繰り返してしまうといった飲み込みに問題を抱える患者さんもたくさんいらっしゃいます。おいしく安全に食べることに對しても支援を行っています。



▲摂食訓練の様子



▲通所リハビリでの訓練の様子

SAISEIKAI
MISUMI
HOSPITAL
さいごに

入院している間だけではなく、退院後や在宅にいらっしゃる場合でも訪問リハビリや通所リハビリ、外来リハビリを通しての支援も可能です。

コミュニケーションや食べることについてのご相談がある場合は、いつでも当院の言語聴覚士にお声かけください。

リハビリ介入の時間

月曜日～土曜日（午前もしくは午後）
時間／9:00～17:00

頻度
週2回程度
（必要に応じて）

1回のリハビリ
提供時間
40分程度

利用料金

介護保険にて利用者の自己負担は**1割**と定められています。

1回の利用料金の目安
600～800円程度

※介護等級や開始時期によって若干の差があります





出前・健康講座

地域連携室／内田 耕人

出前・健康講座開始から現在に至るまで

出前・健康講座は、これまで宇城市・上天草市を中心に活動し、講座は延べ600回以上、聴講者は2万人を越え、当院の特徴となっています。平成16年から行っていますが、その目的は当院周辺地域は高齢化が顕著で院内で講座を行っても聞く方が少ないこと、また、生活習慣病に対する関心が薄く重症化する方が多かったこと、当院の医師や機能を知って頂くことでした。

その頃は月1回程度、特定のスタッフで出張していましたが、平成22年に藤岡院長が就任してからは全職員で取り組み、内容も医師から事務まで幅広いメニューを作成しました。また、院長自ら地域に積極的に出向いたこと、パンフレットを作成し関係機関へ配布したことが功を奏し、今では2回/週のペースで講座を行っています。

特に住民の方々にとって院長自ら地域に出向くということはかなり衝撃的だったようで、なかなか日常では接点がない院長(医師)が自分達の身近な場所に来てくれるということが一番心に響いたのではないかと推察しています。今後も地域住民の方々の健康作りの一助となるよう、職員一丸となって取り組んで行きたいと思っています。



真摯であることの大切さ

数年前のある日、外来に突然、講座を依頼したいと70代の男性Aさんが来院されました。

話を伺ってみると、近所の友人達で定期的に勉強会をしているそうで、そこで「男性はいつまで性交渉をもっていいのか」という講座をしてほしいとのこと。理由を伺ってみると、自分は元気だが、奥さん含め周りが体のことを気遣い自粛すると言われるようで、自分も含めそれで悩んでいる友人が多いとのことでした。最初はこの講座を進めていいのか少し躊躇しましたが、「高齢化が顕著な当地域にとって切実な問題」と捉え、院内スタッフに掛け合いました。結局、当院に担当できる医師が不在だった為、講座は実現しませんでした。が、応援に来てもらっている済生会熊本病院の先生から参考資料を提供してもらいお渡しすることができました。

するとそこからAさんとの交流が始まり、他の内容でご依頼を頂くと、それを他の地区の友人や知人に宣伝して下さり、Aさんの町では今まで年2回ほどしか行っていなかった講座が、年10回以上行こうとなり、当院の外来患者数も増加傾向となりました。また、今でも外来に来られた際は気軽に声をかけて頂いています。

このことを振り返ってみると、Aさんの悩みを真摯に受け止め対応したことが、Aさん含め地域の方々、そして病院にも好影響をもたらしたのではないかと考えています。今後もこの経験で得たことを肝に銘じ、日々精進していきたいと思っています。



8月19日(土) 出前・健康講座in湯島

検査室／中島 晴伸

湯島にて毎年恒例の出前・健康講座を開催しました。

今回は湯島診療所の國友先生に「高齢者に多いフレイル・サルコペニア」、当院消化器内科の築村先生に「肝臓」、そして私は「ASOとフットケア」の話をさせて頂きました。43名の島民の方に参加頂き、皆さん2時間弱の長時間に渡り真剣に話を聞かれていました。今回の話が健康寿命の延長に一役立てれば幸いです。

初めての湯島は最高の夏日で、上陸早々に人懐っこいネコの出迎えがありました。また、いい香りの先には干し蛸がずらりと並んでいました。今回名所巡りはできませんでしたので、次は家族でゆっくりと観光に行きたいと思います。ぜひ! 皆さんも三角経由で湯島へと足をお運びください。

ネコちゃんのお出迎え♪



部署紹介★

医療連携部



多岐に渡る業務に取り組み、各所との連携を強めています。

開院当初は、医療ソーシャルワーカー1名の体制で始めました。現在、部署も医療連携部(部内に医療相談室と地域連携室を設置)となり、現在は計9名(部長1名、副部長2名、MSW4名、看護師2名)で業務を行っています。業務内容としては無料低額診療事業、なでしこプラン、退院支援、病病・病診連携、出前・健康講座、地域包括ケアシステム構築への取り組みなど多岐に渡ります。昨年度、看護師2名が配置されたことで、医療依存度の高い方やターミナルの方への支援、訪問看護ステーションとの連携をこれまで以上に充実させることが出来るようになりました。



今年も開催決定!!

メインステージでは、保育園児による体操・太鼓の演奏、地域の方によるフラダンス、小学生によるソーラン節、医師による健康づくり講演会、あおば病院より“お酒と健康について”もご講演頂きます。

熊本県出身の三遊亭好吉さんによる落語など、楽しいだけでなく、ためになるイベントもたくさんです!

今年は“おがっち”こと緒方由美さんを司会にお迎えします

今年も体験コーナーのスタンプラリーを実施します! 栄養相談、お薬相談、プチ健診、BLS・AED体験、職業疑似体験、療法士体験などのブースを回って、**スタンプを5つ以上集めるとお買い物券と交換いたします。**



三遊亭好吉さん

第8回
済生会みすみ病院2017

健康フェスタ

2017年10月29日(日)
10:00~15:00

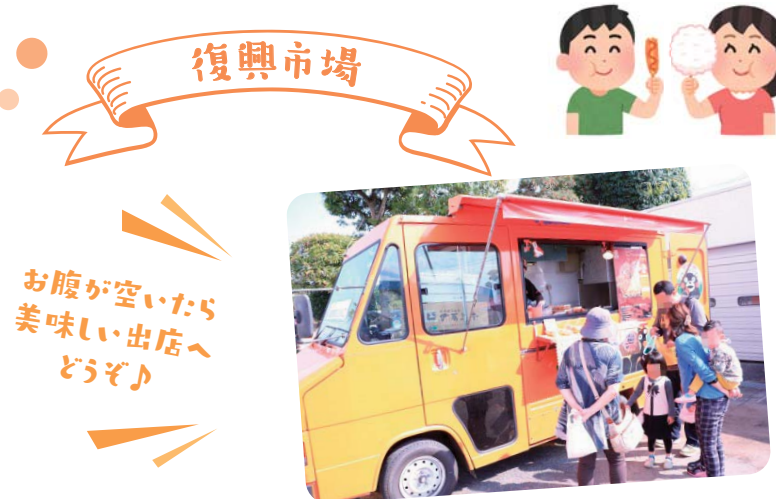


▲栄養相談コーナー

今年は新たに
ウイッグコーナーも
登場予定!

普段聞けないことや
疑問に思っていたこと
など、この機会にぜひ
聞いてみてください♪

昨年に引き続き“復興市場”もオープンします。
種類が増え、今年はスイーツも楽しめます。



お腹が空いたら
美味しい出店へ
どうぞ♪



職員一同
皆様のご来場を心より
お待ちしております!



※抽選券とスタンプラリーの用紙は当日の受付で配布いたします。

最後の締めくくりは、お楽しみ抽選会です♪
ご来場の方に抽選で素敵な景品をプレゼント!!



ぜひご家族、ご友人
お誘い合わせのうえ
お越しください!

健康フェスタ 2016の様子



みすみ病院の できごと



第23回 みすみ港祭り

7月29日(土)に三角町のシンボル「海のピラミッド」前にて第23回みすみ港祭りが開催されました。今年はパレードへの出演団体10組のうち、最多となる86名にて踊りパレードに参加しました。

祭りの成功を祈り、24日(月)の業務終了後に会場の清掃活動を行いました。祭り当日は勤務で参加できないスタッフも積極的に参加してくれました。また、踊りパレードに参加するスタッフは昼休みの空いた時間を見つけて踊りの練習を行いました。3年前から新しい踊りが加わり2種類の踊りがありますが、悪戦苦闘しながらも様々な部署のスタッフ同士教え合いながら楽しんでいました。

パレード当日は夕暮れ時とはいえ日差しが残る時間でありましたが、心地よい海風が吹き始めた頃に踊りパレードが始まり、庄野院長を先頭に

スタッフとその家族で練習の成果を発揮しました。患者さんも多く見に来ておられ、踊りの最中に「みすみ病院バンザーイ!」と応援をしてくれる方もおり、大いに盛り上がったパレードとなりました。

パレード終了後に祭り実行委員から、踊りが良かった団体や盛り上げた団体など3団体が表彰されました。充実感に満ちていた職員は期待して待っていましたが、残念ながら受賞はできませんでした。しかしながら地域の方々とふれあい、またスタッフの子どもたちの成長も見ることができた楽しい一日となりました。

10月29日には「みすみ病院健康フェスタ2017」も開催されます。これからも地域の方々と親睦を深め、地域貢献できるよう取り組みを行っていきます。

MISUMI FESTIVAL



SAISEIKAI
MISUMI
HOSPITAL



家族のためにも年に1度は健康チェックを!

人間ドックのご案内

みすみ病院健診センターでは人間ドックや専門ドック、各種健康診断を実施しております。
年1回の健康チェックにご利用ください。

主な健診コース

- ◇ 生活習慣病予防健診(協会けんぽ加入の方対象:補助有り)
- ◇ 日帰り人間ドック(個人や健康保険組合加入者対象)
- ◇ 脳ドック(MRI・頸部血管超音波検査他)
- ◇ 乳がんドック(乳腺超音波検査+乳房X線検査)
- ◇ 大腸ドック(全大腸内視鏡検査)
- ◇ ロコモ健診(骨密度・下肢筋力・立ち上がり検査他) **NEW!**
- ◇ 労働安全衛生法法定健診(企業の方対象)
- ◇ 宇城市、上天草市 国保特定健診・後期高齢者健診・乳がん検診
- …など

すべて日帰り、事前予約が必要です。

[検査内容・曜日・所用時間・料金などお問い合わせ]

TEL.0964-53-1617 (受付時間:平日14:00~16:00)

